

1. 実況上の着目点

① 500hPa 5160m付近のトラフに対応する前線を伴う低気圧が沿海州付近を北上。前線は北海道東方海上付近と東日本太平洋側を通り東海道沖へのびている。南西諸島付近には気圧の谷がのびている。東シナ海では気圧の谷近傍で激しい雨を解析。低気圧の影響で北海道地方では、非常に強い風を観測し、大しけの所がある。前線通過後の下層寒気の影響で、北海道地方では、3時間約3cmの降雪を観測。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の低気圧は、23日はシベリアへ北上し、前線は不明瞭化しながら、23日夜までに東日本を通過する。南西諸島付近にのびる気圧の谷も次第に不明瞭化する。北日本では、前線通過の影響で、850hPaで-12℃以下の下層寒気が流入し、北海道地方を中心に降雪が強まる。北海道地方では24日は、降雪による交通障害、着雪、なだれに注意。シベリアへ北上する低気圧の影響で、非常に強い風が吹き、大しけとなる所がある。23日夜までに華中付近で前線が発生し、次第に東シナ海にのびる。24日朝までに長江下流付近で前線上に低気圧が発生し、低気圧は25日朝にかけて九州付近まで進み、前線は本州南岸付近から南西諸島にかけてへのびる。日本の東では、23日夜までに、前線が発生し伊豆諸島付近までのびる。前線は次第に九州へ向かう低気圧からのびる前線と一体化し、25日朝にかけて日本のはるか東から南西諸島付近までのびる前線を形成する。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴う強い雨が降り、前線や低気圧近傍では風が強まる所がある。北海道地方では23日は、暴風、暴風雪、高波に警戒。北日本では24日にかけて、東日本では23日は、西日本では24日は、強風、風雪、高波に注意。東日本では23日は、南西諸島では24日にかけて、九州北部地方では24日は、落雷、突風、短時間強雨に注意。九州北部地方では24日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意。

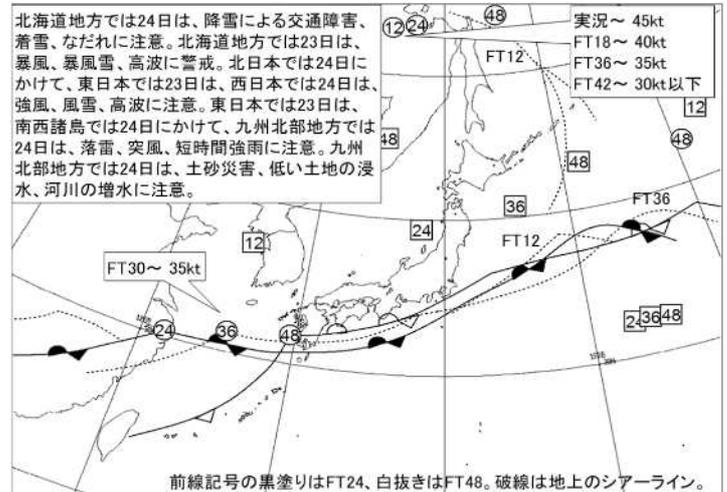
② 25日は、2項①の九州付近へ向かう低気圧は四国の南に進み、その後、不明瞭化する。25日も引き続き前線が日本のはるか東から本州の南岸付近にかけてのびる。高気圧が沿海州付近から北海道付近へ移動し、前線と高気圧との間で気圧の傾きが急となり、強い風が吹き、しける所がある。北～西日本では、高波、強風に注意し、九州北部地方では25日は、暴風に注意・警戒。前線に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となる所がある。東～西日本太平洋側を中心に25日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意し、東～西日本太平洋側を中心に25日は、落雷、突風、降ひょう、短時間強雨に注意。下層の昇温や降水の影響のため、北～西日本の多雪地では、25日にかけて、なだれ、融雪に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 降雪量(18時から24時間)：北海道30cm。③ 波浪(明日まで)：北海道6、東北・北陸4、関東・中国・九州北部3m。④高潮(明日まで)：北海道地方では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



前線記号の黒塗りはFT24、白抜きはFT48。破線は地上のシアーライン。
主要じょう乱解説図